創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編　大学生による市内事業所インタビュー

有限会社　武内自動車商会

有限会社武内自動車商会
代表取締役
武内　健剛さん

うきはのはなし

うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介をしています。
昨年度に引き続き、広報うきはでも久留米大学生による取材記事を掲載します。
うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

■トップインタビュー■

Q.御社の歴史と現在の事業内容を教えて下さい

創業は昭和41年7月で、私は二代目になります。事業内容として自動車整備、販売、板金塗装、保険業務を行っています。私の父が創業者になるのですが、その当時はお客様の修理など注文が殺到し、立ち上げて軌道に乗るまで、父と母が夜遅くまで懸命に働いていたことを今でも覚えています。私は子どもの頃から従業員と仲良く過ごしていたことから、高校生の時に事業を引き継ぐ事を決めました。そして、地域とのつながりを得るために商工会に入りました。

現在は、「こうやって商売ができているのは地元の皆さんのおかげである」という事を念頭に置いて、お客様にサービスをご提供させていただいています。

Q.御社が誇れること（強み）やこだわりを教えて下さい

自分たちの仕事を優先するのではなく、お客様があっての自分たちであるとの想いで、目配り、気配り、心配りを常に持ってお客様と接するようにしています。修理をする際には、流れ作業にならないように、常日頃から広い視野に立って作業するようにしています。また、地域の行事には積極的に参加しています。積極的に参加し、地域の方との関わりを持つことが、お客様からの信頼にもつながるので、これからも続けていきたいです。

Q.会社として挑戦したい、伸ばしていきたいところはどこですか

私の会社は車の修理、販売などをしていますが、異業種にも挑戦していきたいです。現在、私はうきは商工会の理事を務めていますが、その中でうきは市の課題などがよく耳に入ってきます。地元うきは市が好きですから、うきは市を盛り上げ、活性化できるようなことをしたいと考えています。まだ漠然としてはいますが、SDGs（持続可能な開発目標）に関わるような事業でうきは市が活性化し、なおかつそれが地域経済に還元されるような形でできれば良いなと思っています。

Q.学生の皆さんに伝えたいことはありますか

何にでも興味を持ってもらいたいですね。目や耳を使っていろんなことを見聞きし、情報として覚え、素通りをしないということが大事だと思います。なぜなら、今は直接的には関係なくても、将来において、それがいつ成功のきっかけになるのかわからないからです。もちろん勉強も大事ですが、自分が興味を持ったものを深堀していけば、いずれ何かの役に立つことがあります。また、勉強以外に自信を持ってできるものを一つでも見つけてもらいたいです。

Q.うきは市の皆さんに伝えたいことはありますか

うきは市には、プラス思考の人や新しいことにチャレンジする人が多いと感じています。また、うきは市民はそれらを受け入れるための、拒まず、様子を見て会話を大切にするといった気質を持っていると思います。これらの要因もあり、うきは市で創業される方は3年連続で増加していますので、この風土や環境等を大切にして欲しいと思います。

★取材を終えて★

地域の方々と交流して、うきは市を盛り上げていこうと様々な事に挑戦されている社長の姿がとても印象的でした。今回の取材は、私にとって貴重な経験になりました。　（中山）

今回の取材を通して、社長が「うきは市のため」という思いのもと働かれていることが伝わり、地域の繋がりを最も大切にされていることが印象的で、中小企業と地域の交流を知ることができた取材でした。（波津久）

今回の取材を通して、人との繋がりが大切だと学ぶことができました。学生のうちにいろんなことに興味を持ち、人との関わり方を大切に残りの大学生活を過ごしていきたいと思いました。（佐藤）

久留米大学3年
中山　奎（なかやま　けい）

久留米大学3年
波津久　慧（はづく　けい）

久留米大学3年
佐藤　恭輔（さとう　きょうすけ）

会社名　有限会社武内自動車商会
所在地　うきは市吉井町清瀬489-10
電　話　0943-75-2390
F A X　0943-75-2431
H　P　takeuchijidosha.com

この記事に関する問い合わせ先
うきはブランド推進課商工振興係
TEL:0943-76-9095
取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト
うきはのはなし　検索